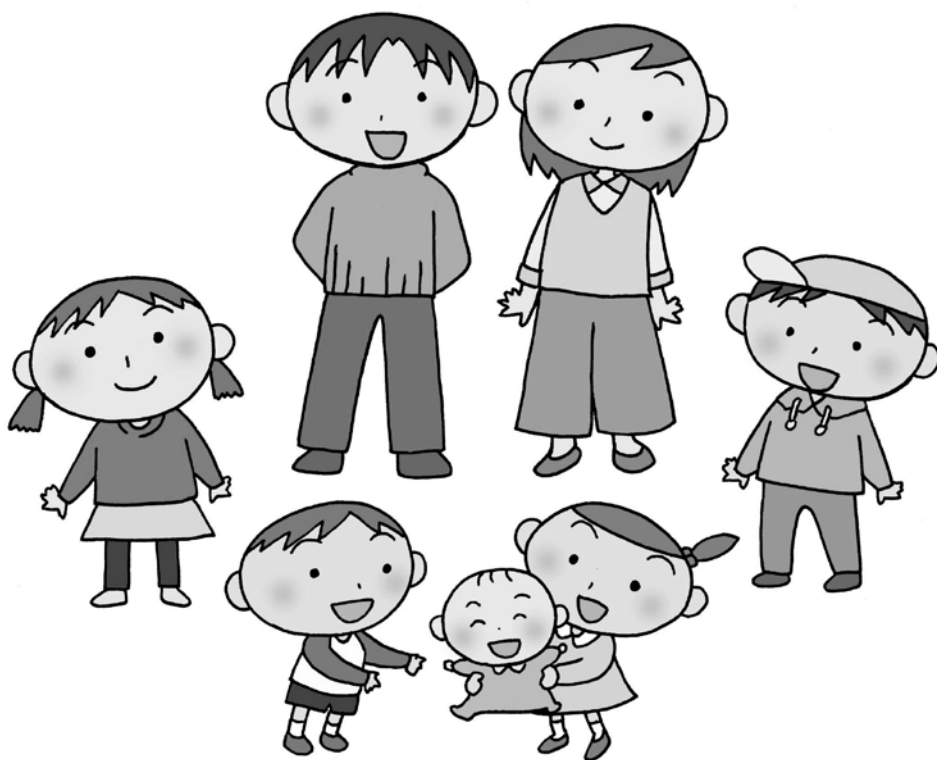


多可町  
子ども・子育て支援事業計画[概要版]  
[中間見直し]



平成30年2月  
多 可 町

# 計画の概要

(赤字部が見直し箇所)

## ◇計画策定の趣旨

国では、子ども・子育てを取り巻く社会情勢の変化を受け、新たな支援制度を構築していくため、「子ども・子育て関連3法」が制定されました。新たな制度のもとでは、「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指すとの考えを基本に、制度・財源を一元化して新しい仕組みを構築し、「質の高い幼児期の学校教育・保育の総合的な提供」「保育の量的拡大・確保」「地域の子ども・子育て支援の充実」を総合的に推進していくことが目指されています。

多可町においても、子ども人口が減少を続けるなかで、子どもたちにとってふさわしい幼児期の学校教育・保育、地域の子ども・子育て支援を総合的・一体的に推進していくため、「多可町次世代育成支援対策推進行動計画」をふまえながら、「多可町子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。今回、平成30年～31年度について、中間見直しを行いました。

## ◇計画の法的位置づけ

本計画は、子ども・子育て支援法第61条第1項に基づき、基本指針に即して、五年を一期とする教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の提供体制の確保、その他この法律に基づく業務の円滑な実施に関する計画として定められるものです。

本計画の策定にあたっては、「第2次多可町総合計画」や「多可町教育ビジョン」、関連の分野別計画との整合、連携を図ります。また、「多可町母子保健計画」を包含する計画とします。



# 計画の基本的な考え方

## ◇基本理念

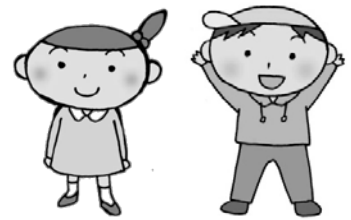
### 明日の多可町を担うこころ豊かな人づくり

まちづくりの基礎は、人づくりにあります。これからの時代を担う子どもたちに、確かな学力、人を思いやる豊かな心、健やかな体など、知育・徳育・体育のバランスがとれた「生きる力」を培う教育を一層充実させていきます。

また、豊かな自然、温かい人情、良き伝統と文化を持った「ふるさと多可町」を愛し、誇りに思う気持ちを育てていきます。そして「多可町で学んで良かった」「多可町に住んで良かった」と実感する子どもの育成を目指して取り組んでいきます。

めざす子ども像：

**豊かな心を持ち、  
多可町の自然にふれ、ひとり、  
主体的に遊ぶ子ども**



幼児期は、情緒的な発達や知的な発達、社会性を涵養するなど人間としてよりよく生きるための基礎を培う大切な時期です。家庭や地域と幼稚園・保育所とが一層連携を密にして教育・保育を進めていきます。

多可町の豊かな自然を生かしながら、自然にふれ、ひとり、その中で主体的に遊ぶ子どもを育成していきます。

集団生活を通して、友だちを思いやる心や友だちと協力すること、話を集中して聞けること、自分の思いが言葉で表現できることなどの社会性が身につくよう取り組みます。

家庭と協力し、「あいさつ」「早寝、早起き、朝ごはん」などの基本的な生活習慣が身につくよう取り組みます。

## ◇施策体系

2つの重点目標と5つの基本目標ごとに基本施策と施策の展開を整理します。



# 施策の展開

## 重点目標 1

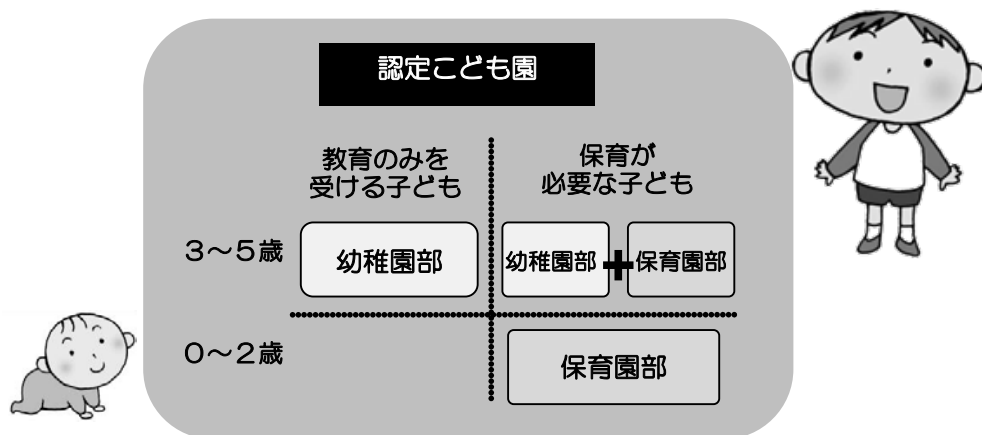
### 就学前施設の円滑な運営と教育・保育の一体的提供

平成 27 年度から国の子ども・子育て支援新制度がスタートすると同時に、多可町においても就学前教育・保育の提供体制が変わります。

#### 中区における3つの認定こども園の整備

これまで中区には、主に0～4歳児が通う保育所が3園と、保護者の就労状況に関係なく多くの5歳児が通う公立の中町幼稚園がありました。幼稚園は、各保育所等で4歳まで過ごしてきた子どもたちが集まり、小学校へスムーズに移行するためにも大切な場として認識されてきましたが、中区内に3つの幼保連携型認定こども園ができること、町内の子ども人口が将来的に減少をしていくことなどをふまえ、**平成27年3月で中町幼稚園は閉園しました。**

中区内の私立保育所3園は、平成27年度からそれぞれ幼保連携型の認定こども園となり、それぞれ0～5歳児が通う保育園部に加えて、3～5歳児の幼稚園部を**開設しました。**幼児教育の質を確保し、保護者の期待に応えるためにも、これまで中町幼稚園で培われてきた教育を受け継ぎ、職員研修等の充実に努めます。今後は教育委員会をはじめ町内の小学校や、加美区・八千代区のキッズランドとの連携を図ります。すでに幼保一体化施設となっている「キッズランドかみ」と「キッズランドやちよ」についても、**平成31年度から公私連携幼保連携型認定こども園に移行します。**



#### 認定こども園とは：教育と保育を一体的に行う施設

- 幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持ち、地域の子育て支援も行う施設です（国では平成18年に導入）。
- 新制度では、認可手続きの簡素化などにより、新たな設置や幼稚園・保育所からの移行をしやすくし、さらに普及を図っていくこととなっています。

## 重点目標２ 子ども・子育て支援事業の整備・実施

子ども・子育て支援法では、子ども・子育て支援事業計画において、さまざまなサービスを提供する区域を定め、その区域ごとに、5年間の利用ニーズ（＝「量の見込み」）、町として提供する「確保の内容」、またその「実施時期」を定めることとされています。多可町では、区域を分けずに町全体で、以下の「子ども・子育て支援給付」の対象となっている教育・保育事業、「地域子ども・子育て支援事業」の対象となっている **10 の事業** に関して、今回量の見込みを見直しました。

### ＜子ども・子育て支援給付＞

認定区分	単位	見込み				
	年間	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	H31 年
1号認定（3歳～5歳、教育希望）	人	70	66	61	90	90
2号認定（3歳～5歳、保育必要・保育希望）	人	369	348	322	324	329
3号認定（0歳～2歳、保育必要、保育希望）	人	163	165	159	161	156

### ＜地域子ども・子育て支援事業＞

事業名	単位	見込み				
	年間	H27 年	H28 年	H29 年	H30 年	H31 年
1.延長保育事業（0歳～5歳）	人	204	198	187	185	182
2.子育て短期支援事業（0歳～中学生）	人日	0	0	0	0	0
3.地域子育て支援拠点事業（0歳～5歳）	人日	7,654	7,541	7,450	7,231	7,210
4.一時預かり事業 <b>幼稚園型</b> での預かり	人日	35	35	33	390	390
<b>幼稚園型以外</b> での一時預かり		154	154	150	148	148
5.病児・病後児保育事業	人日	12	12	12	62	62
6.利用者支援事業	ヶ所	6	6	6	6	6
7.放課後児童健全育成事業 低学年	人	248	239	238	200	200
高学年		50	48	48	46	40
8.乳児家庭全戸訪問事業	人	122	119	115	112	108
9.養育支援訪問事業	人	25	25	24	24	23
10.妊婦健診事業	人	202	197	190	150	140

## **基本目標 1. 地域における子育て・親育て**

---

全国的に少子化が進み、核家族化も進行し、住民同士のつながりや付き合いが希薄化していることが問題視されるなかで、子育て支援に重要となるのは地域の力です。

本町においても、「子育てについての第一義的な責任を有するのは保護者である」という基本的な認識をもちつつも、子育てを保護者のみの役割とせず、地域全体で子どもや子育て家庭を支えるという視点から、施策を推進します。

子育て世代ではなくても子どもや子育てに関わる意識をもつことができるよう、世代間の交流を推進するなど、地域全体で子育てを応援する環境づくりに努めます。

## **基本目標 2. 子どもの健やかな育ちを支える環境づくり**

---

本町における子どもと母親の健康づくりのための乳幼児健診や育児教室等、母子保健事業への参加率は高い水準で推移しています。健診の啓発、周知を図りながら、個別訪問や健診後のフォローアップなども実施し、乳幼児の発育・健康状態の適切な把握や指導を進めます。子どもの心身の健全な成長の基本となる「食」についても、町として正しい情報や知識を提供し、地産地消について考える機会を設けるなど、子どもと保護者への「食育」を推進します。

子どもと母親の健康づくりのために、国が示す「健やか親子 21」を踏まえ、妊娠期から継続した育児支援を展開し健康診査や相談事業を充実します。

## **基本目標 3. 子どもが安全・安心に成長できる環境づくり**

---

子どもが元気に遊び、学び、育っていくためには、地域が安全で、子どもも保護者も安心できる場所であることが大切です。安全教育や見守り・安全巡回パトロール員による学校園施設内や周辺及び通学路公園等のパトロールを実施し、地域ぐるみの防犯体制を整備します。また、町や学校としての指導・教育を見直し、一層の徹底を図り、さらには子どもが元気よく遊べるよう、公園の整備や道路の整備を進めていくことが大切です。

## 基本目標4. ワーク・ライフ・バランスの推進

多くの子育て家庭が直面するのが、仕事と家庭の両立です。育児休業の取得も進んでいるものの、男性の取得は未だ難しい現状があります。就労と出産・子育ての二者択一構造の解消には、「働き方の見直しによる仕事と生活の調和の実現」が必要です。そのため、育児・介護休業法等の周知、事業主、地域住民への広報・啓発を実施します。

## 基本目標5. 要保護児童等へのきめ細やかな支援の推進

要保護児童等の早期発見と適切な保護、障がいのある子どもなど支援を必要としている子どもや家庭への対応も重要です。本町では、児童・生徒のライフステージに応じた継続的な支援を行うために導入している「サポートファイル」の取り組みの充実を図ります。子どもの権利が尊重される社会環境づくりのため、関係団体が連携を図り、きめ細やかな支援に努めます。

### 多可町子ども・子育て支援施設一覧

	名 称	対 象	所 在 地	連絡先
教育・ 保育 施設	みどりこども園	未就学児	中区牧野 52	0795-32-3927
	あさかこども園		中区安坂 495	0795-32-0026
	四恩こども園		中区曾我井 896-7	0795-32-2915
	キッズランドかみ		加美区的場 82-1	0795-30-7770
	キッズランドやちよ		八千代区仕出原 353	0795-37-0001
	ちびっこランドらくえん		八千代区俵田 111-22	0795-37-0174
子育て 関連施設	子育てふれあいセンター	未就園児	キッズランドやちよ	0795-37-2525
	中児童館	小中学生等	中区高岸 425-6	0795-32-4328
	みなみ児童館		加美区的場 68-1	0795-35-1420
放課後 児童 クラブ	中南にこにこクラブ	小学生	中町南小学校	0795-32-4568
	中北にこにこクラブ		中町北小学校	0795-32-4566
	松井っ子クラブ		みなみ児童館	0795-35-1420
	杉っ子クラブ		杉っ子会館	0795-36-1420
	八千代わんぱくクラブ		八千代わんぱく会館	0795-37-1850

多可町子ども・子育て支援事業計画

【概要版】

【中間見直し】

発行年月：平成 30 年 2 月

発行：多可町教育委員会こども未来課

TEL：0795-32-2385 FAX：0795-32-4142